



看護学教育における授業展開

質の高い講義・演習・実習の実現に向けて

監修：舟島なをみ／医学書院

定価：3,360 円(本体 3,200 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■「授業とは何か」。教育学の基本から解き起こし、看護教育における講義・演習・実習、それぞれの利点と欠点、学習者の理解、教授活動の留意点などを概説しながら、具体的、実践的な授業展開と、その目指すべき設計方法を提示する。すべての看護専門分野に共通する基本知識から最新の研究成果までが整理・統合され、「学生にわかりやすい授業を提供したい」という看護教員の願いに応える。

日本近現代

医学人名事典 1868-2011

編：泉孝英／医学書院

定価：12,600 円(本体 12,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■わが国の近・現代医学・医療に携わった 1868～2011 年の物故者 3762 名について、その業績や著作を紹介する。著作を医学の領域に限らず、歌集・句集から文学作品、故人を追悼した刊行物、伝記を含めて収載したことで、日本の近現代の医療を担った先人たちの志や、社会への貢献、豊かな心のありようにもふれることができる。看護師・保健師の先駆者も名を連ねる。先人の足跡は、未来への道しるべ。



産業看護学

著：河野啓子／日本看護協会出版会

定価：3,465 円(本体 3,300 円＋税)／TEL：03-5778-5640

■「職業に起因する健康障害を予防することはもとより、(中略)労働と健康の調和が図れるように組織、労働者(集団、個人)に働きかけること、そして対象の生活の場である地域の社会資源との連携を図り、産業の場で対象の健康づくりへの支援を行う」(本文より)と、産業看護職の役割を位置づけ、期待される役割拡大、緊密な地域連携を視野に入れた、産業看護学のすべてを網羅したテキスト。

命を紡ぐ侍たち

著：男性看護師研究会 侍／教友社

定価：1,680 円(本体 1,600 円＋税)／TEL：047-403-4818

■本誌 2011 年 4 月号の特集「男が看護を学ぶこと」から 2 年。まだまだ女性が圧倒的多数の職場にあって、孤軍奮闘の観を免れない男性看護師たち。その日常は、患者・家族に寄り添い、心を砕き、喜び、泣き……と、女性看護師の日常となら変わらない。他職種と協働し、「気は優しくして力持ち」を実践する彼らの、いちばん遠い存在が女性看護師であってはならない。道なき道を歩む侍たちにエールを！

